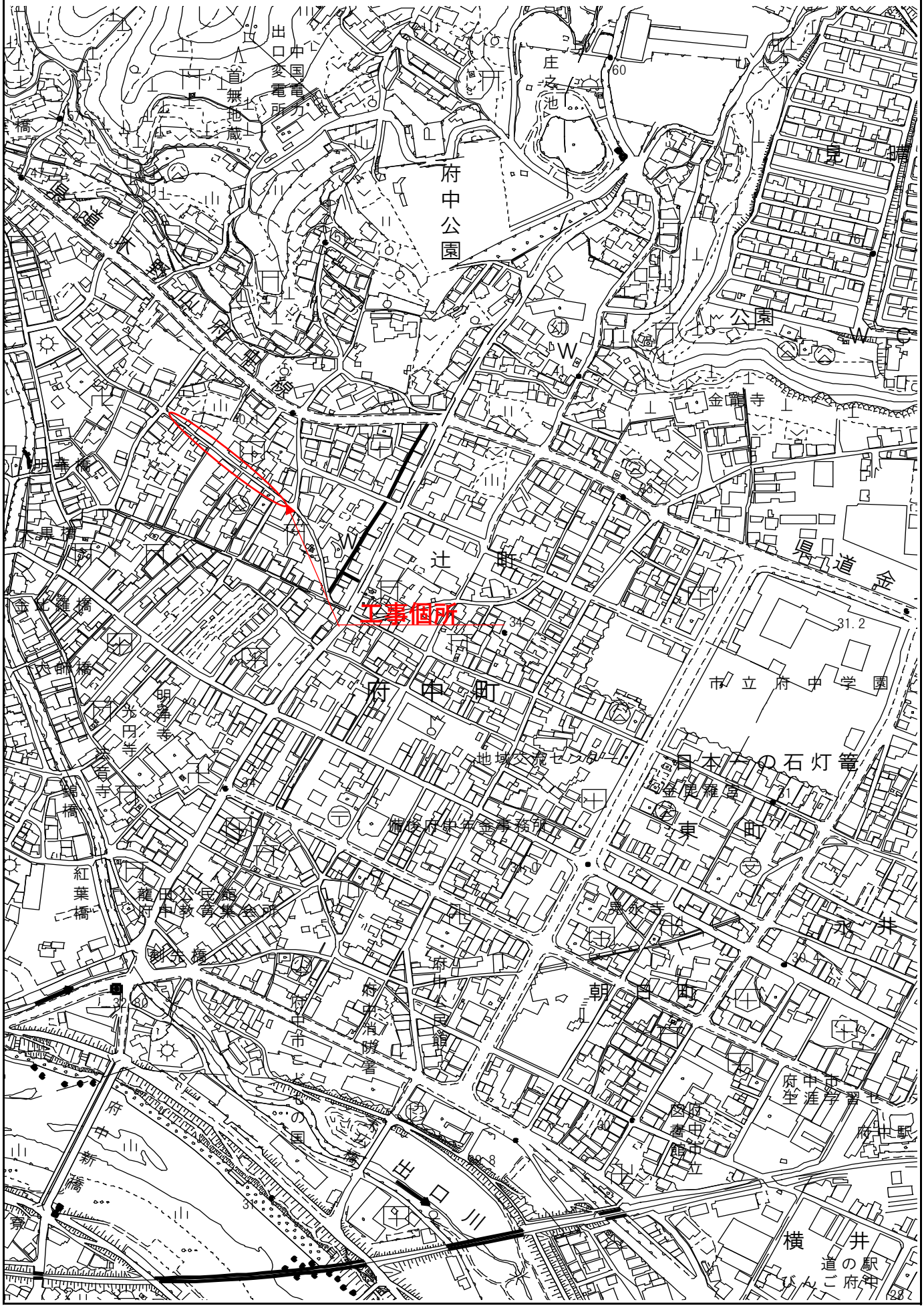
出口1号線排水路改良工事

位　置　図



R8.9.1 改正

〔建設工事/最低制限価格〕

入札条件及び注意事項

1　入札方式

電子入札システム（以下「システム」 という。 ）を使用して入札を行うこと。（事務取扱は、府中市電子入札実施要領（以下「要領」という。）による。）

ただし、要領第４条第２項の規定に該当する場合は、同条項の定めに従い承認を得て、書面による入札を行うことができる。

2　入札保証金

免除する。

3　契約保証金

（１）契約の保証を必要とする場合

契約保証金の額は、請負代金額の１０分の１以上（低価格入札による請負契約の場合は請負代金額の１０分の３以上）の額を契約時に納付すること。ただし、金融機関若しくは保証事業会社の保証をもって納付に代えることができる。 また、公共工事履行保証証券による保証を付し又は、履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金の納付を免除する。

（２）契約の保証を必要としない場合

契約者が過去２年間に市、国又は他の地方公共団体と種類及び規模を同じくする契約を２回以上にわたって誠実に履行した実績を有する者であり、かつ、当該契約を履行しないこととなるおそれがないと認める場合は、予定価格が３００万円未満の工事について免除する。

4　入札書の提出方法

（１）指定した入札書受付期間に電子入札システムを使用して３桁のくじ番号を記載した入札書を提出すること。

要領で定める手続により書面参加に変更した者は、指定した入札書受付期間に代表者印（届出済代理人の場合は受任者印）を押印し、３桁のくじ番号を記載（くじ番号の記載のない場合は「００１」と記載されたものとする。）した入札書を、次の事項を記載した封筒に封入して監理課へ持参のうえ提出すること。

①　提出者の商号又は名称

②　入札書が在中している旨

③　当該入札等に係る建設工事等の名称及び開札日

5　工事費内訳書

（１）原則として、すべての競争入札において入札時に工事費内訳書の提出を求める。

（２）工事費内訳書の提出を必要としない場合は、入札公告又は指名通知書によって周知する。

（３）内容及び様式

①　記載事項

・　入札者の商号又は名称

・　代表者名（支店の場合は支店長名等）

・　工事名

・　工事費の内訳

② 工事費の内訳の記載について

工事費の内訳は、 配布した当該工事に係る仕様書の本工事費内訳書のうち、下記の項目に対応するものの単位、数量及び金額を表示したものとする。

（仕様書の本工事費内訳書に記載してもかまわない。その場合、下記※１の項目は内訳書下段に記載すること。）

<土木関係工事>

本工事費内訳書：費目、工種、種別

<建築・設備関係工事>

内訳書：名称及び摘要欄記載の工種

諸経費は項目ごと（共通仮設費、現場管理費、一般管理費）に記載すること。

※１ 次の項目についても記載すること

直接工事費のうち材料費、直接工事費のうち労務費、現場管理費のうち法定福利費の事業主負担額（建築関連工事の場合は工事原価のうち現場労働者の法定福利費の事業主負担額)、現場管理費のうち建設業退職金共済制度（建退共制度）の掛金、工事原価のうち安全衛生経費

※２ その他の工事で工事費内訳書を作成する場合は、原則として土木関係工事に準じて作成すること。

③ 様式

配布した当該工事に係る仕様書に準じて、原則Ａ４判（縦、横自由）で作成し、入札書をシステムで提出する際、システムの機能により添付を行い提出すること。ただし、要領で定める手続きにより書面参加に変更した者は、必要事項を記入し代表者印を押印した内訳書を次の事項を記載した封筒に封入し、指定した入札書受付期間に監理課へ持参のうえ提出すること。

・ 商号又は名称
・ 内訳書が在中している旨
・ 当該入札に係る建設工事の名称及び開札日

（４）提出を求めた工事費内訳書が次のいずれかに該当する場合は、入札を無効とする。

① 未提出であると認められる場合

・ 工事費内訳書の全部又は一部が提出されていない。
・ 無関係な書類である。
・ 他の工事の工事費内訳書である。

② 記載すべき事項が欠けている場合

・ 内訳の記載がない。
・ ゼロ計上の項目がある。

③ 記載すべき事項に誤りがある場合

・ 対象工事名に誤りがある。
・ 提出業者名に誤りがある。
・ 工事費内訳書の合計金額と入札金額が一致していない。
・ 工事費内訳書の合計金額と各内訳の合計金額が一致していない。

６ 落札者の決定方法

（１）条件付一般競争入札

公告共通事項に記載の手続きによる。

（２）通常型指名競争入札

開札の結果、落札となるべき同価格の入札した者が二人以上いるときは、これらの者

のうち、電子入札システムの電子くじによるくじ引きによって選ばれた者を落札者とする。ただし、抽選一抜け方式適用工事の場合、入札の執行順序が上位の工事において抽選で落札候補者となった者が、その後の入札において抽選で落札候補者となったときはこれを無効とする。

7　落札価格

落札価格は、入札書に記載された金額に当該金額の１００分の１０に相当する額を加算した金額（当該金額に１円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とする。

8　契約の締結

落札者は、落札決定の通知を受けた日から５日（府中市の休日を定める条例第１条第１項に規定する市の休日を除く。以下同じ。）以内に契約を締結するものとし、議会の議決が必要な場合には落札決定の通知を受けた日から５日以内に仮契約を締結し、議決後本契約を締結するものとする。（議会の議決が必要な契約は、予定価格が１億５千万円以上である。）

なお、仮契約を締結した後、本契約を締結するまでの間に府中市建設業者等指名除外要綱に規定する指名除外等の措置を受けたときは、仮契約を解除することができる。

9　設計図書等

（１）監理課が指定する市ホームページからダウンロード、又は指定があるときは購入することができる。

購入する場合の代金は５００円とし、電子媒体（ＣＤ－Ｒ等に保存されたもの）によるものとする。

１０　設計図書に対する質問及び回答

（１）条件付一般競争入札

入札公告に記載のとおり

（２）通常型指名競争入札

質問書受付期間	指名の通知を行った日から３日間
質問回答期限	入札開始日の２日前
質問書提出方法	監理課に持参又はＦＡＸにより提出　FAX (0847)46-1535
回答方法	市ホームページで閲覧

１１　予定価格

（１）予定価格は、事前公表とする。（予定価格事後公表試行案件は除く。）

①　条件付一般競争入札の場合　　公告に記載のとおり

②　通常型指名競争入札の場合　　指名通知書に記載のとおり

（２）当該工事の予定価格を上回る入札を行った場合は失格となり、予定価格を事前に公表した場合には、指名除外の対象となる場合がある。

１２　最低制限価格・調査基準価格

「最低制限価格」を設定している。

価格は、事後公表とする。

最低制限価格を下回る入札を行った場合は、失格とする。

１３　各会計年度の支払限度額

設定していない。

１４　前払金

予定価格が３００万円以上の請負契約を対象とし、その前払額は、請負代金額の１０分の４以内とする。

ただし、入札公告等で別に定めのあるものを除く。

１５　中間前払金

請負代金額の１０分の２以内とする。ただし、本市が中間前払金の支払条件を満たしていると認めたときに限る。

１６　部分払

請負代金額が５００万円以上の請負契約を対象とする。

１７　入札辞退等

（１）通常型指名競争入札において、入札を辞退しようとするときは、入札書受付締切予定日時までにシステムを利用して辞退届を提出すること。

（２）通常型指名競争入札において、入札書受付締切予定日時までにシステムを利用して辞退届を提出しなかった電子入札者は失格とする。

１８　建設リサイクル法

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）第９条第１項に規定する「対象建設工事」を請け負おうとする者は、落札決定通知の日から５日以内に、発注者（工事担当課）に対して、「法第１２条第１項に基づく書面」 を提出し、法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について説明した上で、発注者（監理課）に対して、「法第１３条及び省令第４条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合、契約を締結することができないものとし、落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

１９　公正な入札の確保等

（１）公正な入札の確保に努めるため、入札者は次に掲げる事項を遵守しなければならない。

①　入札者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和２２年法律第５４号）等に抵触する行為を行ってはならない。

②　入札者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。

③　入札者は、落札者の決定前に、他の入札者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。

④　入札者は、市が談合情報等による調査を行う場合には、これに協力しなければならない。

（２）入札者が連合し、又は不穏の行動をなす場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。 また、本市が入札談合に関する情報を入手した場合において、市の事情聴取等の結果

①　明らかに談合の事実があったと認められる証拠を得た場合には、 談合情報対応マニュアルに基づき、入札執行の延期若しくは取りやめ又は無効とする。

②　明らかに談合の事実があったと認定できないが、談合の疑いが払拭できない場合は、談合情報対応マニュアルに基づき、入札を無効とすることがある。

２０　地場製品の活用

工事用資材等については、 地場製品の積極的な活用に努めること。

２１　下請契約について

（１）社会保険等未加入対策について

①　受注者が、社会保険等未加入建設業者と一次下請契約することを原則禁止する。一次下請業者が社会保険未加入であることが判明した場合は、特別な事情がある場合を

除き、受注者に対して次の措置を行う。

措　　置	内　　容
指名除外の措置	契約違反に該当し、１か月(最大４か月)の指名除外を行う。
工事成績評定点の減点	指名除外措置に伴い、１３点(最大２０点)の減点を行う。
建設業許可行政庁への通報	一次下請業者に対しては、許可行政庁へ通報する。

また、二次以降の下請業者については、社会保険等に未加入であることが判明した場合は、建設業許可行政庁へ通報する。

② 受注者は、社会保険の加入に関する下請指導ガイドラインに基づき、下請企業の指導等に努めること。

③ 受注者は、下請企業との契約に当たっては、法定福利費を明示した標準見積書の活用等により、適正な法定福利費が確保されるよう努めること。

（２）当初工事請負代金額が３００万円未満の建設工事（舗装工事、法面工事、建築一式工事を除く。）において、「主たる部分」の下請負を行わないこと。

建設工事の主たる部分とは、以下に掲げるもの以外のすべての部分を指し、当該 「工事の主たる部分」 に該当するか否かの判断は、工事担当課の長及び監督員が行うものとする。

① 建設工事が一式工事である場合における他の工事種別に該当する工事
② 建設工事が専門工事である場合における他の工事種別に該当する付帯工事
③ 仮設工に該当する工事
④ 準備工に該当する工事
⑤ 雑工に該当する工事
⑥ その他基礎的又は準備的工事に該当する工事

また、設計図書において、あらかじめ下請負を認めない部分を指定する場合がある。あらかじめ指定された部分については、下請契約を締結することができない。

（３）市内業者へ発注する土木一式工事の施工に際して、工事の一部を下請させる場合は、以下に掲げるもの以外、原則市内に営業所を有する者に請負わせること。ただし、高度又は特殊な技術を要し技術的に対応できる業者が存在しない等の合理的な理由の届出がなされ承認する場合はこの限りでない。

【理由の届出の必要のない業種】

プレストコンクリート	法面処理	大工
左官	石	屋根
タイル	れんが	ブロック
鋼構造物	鋼橋上部	鉄筋
舗装	しゅんせつ	板金
ガラス	塗装	防水
内装仕上	機械器具設置	熱絶縁
電気通信	造園	さく井
建具	水道施設	消防施設
清掃施設		

（４）市外業者へ発注する工事について、下請負する場合には市内業者の積極的な活用に努めること。

２２　その他

（１）入札にあたっては、府中市契約規則、府中市建設工事執行規則、関係法令等及び設計

図書等の内容を承諾のうえ入札すること。

（２）この工事の予算措置について議会の議決を得られなかったときは、この公告に基づく入札手続は中止し、その場合、本市は入札参加者の被った損害を賠償する責を負わない。

（３）提出された書面等は返却しないものとし、公正取引委員会及び警察に提出する場合があるとともに、府中市情報公開条例に基づく公開請求があった際には公開の対象となる場合がある。

（４）入札等に係る費用は、入札者の負担とする。

（５）「入札公告」と「入札条件及び注意事項」又は「仕様書共通事項」の記載に相違がある場合、「入札公告」を優先する。

（６）指名競争入札において、その入札が１であるときは無効とする。

〔建設リサイクル法対象工事〕
R8.4.1 改正

入　札　条　件

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）第９条第１項に規定する「対象建設工事」（下記≪対象工事の定義≫参照）を請け負おうとする者は，法第１２条第１項に基づき，法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について記載した書面を交付して説明しなければならない。

また，請負契約の当事者は，法第１３条及び「特定建設資材に係る分別解体等に関する省令」（平成１４年国土交通省令第１７号。以下「省令」という。）第７条に基づき，①分別解体等の方法，②解体工事に要する費用，③再資源化等をするための施設の名称及び所在地，④再資源化等に要する費用について，請負契約に係る書面に記載し，署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。

このため，対象建設工事の落札者は，次の事項に留意し，落札決定通知の日から５日以内に，発注者（工事担当課）に対して，「法第１２条第１項に基づく書面」を提出し，法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について説明した上で，発注者（契約担当課）に対して，「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」を提出しなければならない。

対象建設工事の落札者がこれらの書面をこの期間内に提出しない場合，契約を締結することができないものとし，落札者が落札しても契約を締結しないもの（契約締結拒否）として取扱う。

なお，この場合，当該落札者は，契約保証の措置を行うために要する費用その他一切の費用について，発注者に請求できない。

(1) 「法第１２条第１項に基づく書面」は，別紙様式（12 条関係様式）により作成すること。
(2) 「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」は，別紙（13 条関係様式）により作成すること。
(3) 「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」中の「解体工事に要する費用」及び「再資源化に要する費用」は直接工事費とすること。
(4) 「法第１３条及び省令第７条に基づく書面」中の「再資源化に要する費用」は，特定建設資材廃棄物の再資源化に要する費用とし，再資源化施設への搬入費に運搬費を加えたものとすること。

≪対象建設工事の定義≫
「対象建設工事」とは，次の（ア）に示す特定建設資材を使用した若しくは使用する予定又は特定建設資材の廃棄物が発生する（イ）の工事規模の建設工事をいう。
（ア）特定建設資材（１品目以上）
①コンクリート
②コンクリート及び鉄から成る建設資材
③木材
④アスファルト・コンクリート
（イ）工事規模

工事の種類	規模の基準
建築物解体工事	床面積の合計　８０㎡以上
建築物新築・増築工事	床面積の合計　５００㎡以上
建築物修繕・模様替工事	請負代金の額　１億円以上
建築物以外の工作物工事	請負代金の額　５００万円以上

（注）解体・増築の場合は，各々解体・増築部分に係る床面積をいう。

〔建設リサイクル法対象工事〕
2010.4.1 改正

特 記 仕 様 書

１．工事受注者は，本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（アスファルト・コンクリート，コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について，「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和４５年法律第１３７号。以下「廃棄物処理法」という。）を遵守し適正に処理しなければならない。

２．工事受注者は，その請け負った建設工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは，当該他の建設業を営む者に対して，法第１２条第２項に基づき，法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について，別紙告知書様式で告げなければならない。

３．工事受注者は，工事着手前に，「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を本工事の監督員に提出しなければならない。

４．工事受注者は，「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し，工事完成時に，「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督員に提出しなければならない。

５．本工事で発生した建設資材廃棄物は，広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が，廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。

但し，建設資材廃棄物が，破砕等（選別を含む）により有用物となった場合，その用途に応じて適切に処理するものとする。

※　有用物：有価物たる性状を有するもの。有価物は客観的に利用用途に応じて適正な品質を有していなければ成らない。

６．本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は，前記５．に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って，正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

別紙

(1)　再生資源利用計画書（実施書）様式１・イ
(2)　再生資源利用促進計画書（実施書）様式２・ロ
(3)　告知書様式

改正 R8.4.1

〔土木工事〕

仕様書共通事項

1　共通事項

（1）本工事の施工にあたっては、広島県制定「土木工事共通仕様書」並びに国土交通省制定「土木工事共通仕様書」に基づき実施すること。

（2）「設計図書」、「共通仕様書」若しくは「仕様書特記事項」の記載に相違がある場合、又は「設計図書」に定めのない事項については、別途監督員と事前に協議し、その指示に従うこと。

2　工期の設定について（契約約款第３１条関係）

本工事の工期は、１４日を限度として検査期間を見込んでいるので、工期末の１４日前までに工事を完成し、監督員に工事完成届を提出すること。

3　請負代金内訳書及び工程表の提出について（契約約款第３条関係）

（1）請負代金内訳書の提出について、入札時に工事費内訳書を提出した場合は、請負代金内訳書の提出について免除する。ただし、低価格入札等で調査が必要な場合は、別に詳細資料の提出を求める場合がある。

（2）工程表の提出は、工事請負代金額３００万円以上の工事に係る契約については免除する。工事請負代金額３００万円未満の工事に係る契約については、監督員と協議し、監督員の承認を受けた場合は免除とする。

4　施工計画書の提出について

工事請負代金額が３００万円以上の工事を受注した場合は、工事着手に先立ち施工計画書を監督員に提出すること。

5　現場代理人及び主任技術者・監理技術者の届出等について（契約約款第１０条関係）

（1）現場代理人及び主任技術者・監理技術者を定めて工事現場に置くときは、現場代理人及び主任技術者等指名（変更）届を契約締結後１４日以内に提出すること。

（2）現場代理人及び主任技術者・監理技術者の配置については、「府中市発注工事における技術者等の適正配置について」によるものとする。

6　施工体制台帳の提出等について（契約約款第７条の２関係）

（1）建設業法第２４条の７第１項の規定により施工体制台帳を作成したときは、その写しを監督員に提出すること。（提出された内容が変更された場合を含む。）

（2）受注者は、施工体制台帳の記載事項を遵守し、工事の施工にあたること。

（3）受注者は、建設業法施行規則第１４条の６により施工体系図を作成し、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示すること。

7　作業員名簿の提出について

監督員へ作業員名簿の提出を行うこと。

８　「建設業退職金共済制度」に係る発注者用掛金収納書の提出について

工事請負代金額が３００万円以上の工事を受注した場合は、金融機関が発行する掛金収納書を請負契約締結後１ヵ月以内に提出すること。なお、この期間内に収納書を提出できない場合は、あらかじめその理由及び証紙購入予定について申し出ること。

９　「工事実績データ」の作成について

受注者は、受注時又は変更時において請負代金額が５００万円以上の工事について、工事実績情報サービス（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けたうえ、受注時は本契約締結後、土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、完成時は工事完成後、土曜日、日曜日、祝日等を除き１０日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録をしなければならない。

なお、共通仮設費率に「ＣＯＲＩＮＳ登録にかかる費用」を見込んでいる。

また、登録機関発行の「登録内容確認書」を工事打合せ簿により監督員に提出しなければならない。

１０　建設工事の主たる部分について

建設工事の主たる部分の下請を禁止する工事について、あらかじめ「主たる部分」を指定する場合は、次に掲げるものとする。

主たる部分	

記載のない場合は、当初工事請負代金額が３００万円未満の建設工事（舗装工事、法面工事、建築一式工事を除く。）において、「主たる部分」の下請負を行わないこと。

建設工事の主たる部分とは、以下に掲げるもの以外のすべての部分を指し、当該 「工事の主たる部分」に該当するか否かの判断は、工事担当課の長及び監督員が行うものとする。

①　建設工事が一式工事である場合における他の工事種別に該当する工事
②　建設工事が専門工事である場合における他の工事種別に該当する付帯工事
③　仮設工に該当する工事
④　準備工に該当する工事
⑤　雑工に該当する工事
⑥　その他基礎的又は準備的工事に該当する工事

また、「設計図書」において、あらかじめ下請負を認めない部分を指定する場合がある。

あらかじめ指定された部分については、下請契約を締結することができない。

仕様書追加事項

1　安全対策について

（交通誘導警備員の配置基準）

工事期間中における交通誘導警備員は、3（人／日）配置を見込んでいる。

ただし、工法変更等現場条件に著しく変更が生じる場合、又は関係機関との調整等に伴い上記配置によりがたい場合は、別途監督員と協議すること。

【配置員数】

規　格	配置員数	施工時間	備考
交通誘導警備員 B	12 人	(昼)・夜	

（交通誘導警備員の資格要件）

受注者は、交通誘導にあたっては、交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置すること。

なお、公安委員会が認める交通誘導警備業務の指定路線（認定路線）区間内及び自動車専用道路において交通誘導警備業務を行う場合は、1 名以上の交通誘導警備検定合格者（1 級又は 2 級）を配置すること。

資格	資格要件
交通誘導警備検定合格者（1 級及び 2 級）	・警備業法第 23 条の 1 に定める検定（交通誘導警備）に合格したもの
交通誘導に関し専門的な知識及び技能を有する警備員等	・警備業法における基本教育及び業務別教育（警備業法第 2 条第 1 項第 2 号の警備業務）を受けているもの ・警備業法における指定講習を受講したもの

〔建設リサイクル法対象工事〕
2010.4.1 改正

特 記 仕 様 書

１．工事受注者は，本工事により発生する特定建設資材廃棄物（特定建設資材（アスファルト・コンクリート，コンクリート及び木材）が廃棄物になったものをいう。）について，「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成１２年法律第１０４号。以下「法」という。）及び「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和４５年法律第１３７号。以下「廃棄物処理法」という。）を遵守し適正に処理しなければならない。

２．工事受注者は，その請け負った建設工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事以外の部分を他の建設業を営む者に請け負わせようとするときは，当該他の建設業を営む者に対して，法第１２条第２項に基づき，法第１０条第１項第１号から第５号までに掲げる事項について，別紙告知書様式で告げなければならない。

３．工事受注者は，工事着手前に，「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を本工事の監督員に提出しなければならない。

４．工事受注者は，「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し，工事完成時に，「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督員に提出しなければならない。

５．本工事で発生した建設資材廃棄物は，広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市，呉市，福山市）が，廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設で処理すること。

但し，建設資材廃棄物が，破砕等（選別を含む）により有用物となった場合，その用途に応じて適切に処理するものとする。

※　有用物：有価物たる性状を有するもの。有価物は客観的に利用用途に応じて適正な品質を有していなければ成らない。

６．本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は，前記５．に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って，正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。

別紙

(1)　再生資源利用計画書（実施書）様式１・イ
(2)　再生資源利用促進計画書（実施書）様式２・ロ
(3)　告知書様式

〔情報共有システム対象工事〕

2021.4.1 改正

特　記　仕　様　書

1　本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。

2　本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム（市町利用）

http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

3　監督員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。（システム利用に係る費用は共通仮設費率分に含まれている。）

4　工事完成時については、提出する必要のある工事成果品を電子納品すること。また、電子納品が困難な場合は、受発注者間で工事関係書類一覧表により事前協議すること。

5　受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

別記

抽選一抜け方式に関する事項

本件は、抽選一抜け方式を適用する入札案件である。

抽選一抜け方式とは、競争入札に付す複数の案件において、落札候補者（又は落札者。以下同じ。）を決定する順位をあらかじめ定め、抽選で落札候補者となった者のその後の抽選による入札を無効とすることにより、順次その後の案件の落札候補者を決定する入札方式である。

本件と同一日に入札に付す抽選一抜け方式の対象工事は、次表（抽選一抜け方式対象工事一覧表）のとおりとし、取扱いは次のとおりとする。

抽選一抜け方式対象工事一覧表

開札日：令和８年１１月２６日

落札候補者 決定順位	工事名	工事場所
1	久佐諸毛線道路災害復旧工事	諸毛町
2	永野川河川道路災害復旧工事	諸毛町
3	鴫谷広谷線支線道路単独災害復旧工事	栗柄町
4	下上山線支線道路単独災害復旧工事	上山町
5	出口１号線排水路改良工事	出口町
6	諸毛７号線道路災害復旧工事	諸毛町
7	府－１市場小規模崩壊地復旧工事	木野山町
8	五升原農地災害復旧工事	上下町
9	下上山線道路災害復旧工事	父石町
１０	原田農地災害復旧工事	上下町

1　落札候補者の決定は、落札候補者決定順位欄に記載の番号順に行う。

2　入札において、予定価格の制限の範囲内で最低制限価格以上の価格のうち最も低い価格（以下「最低制限」という。）が複数あり抽選となる場合を抽選一抜け方式による入札とする。

3　抽選一抜け方式においては、１者が落札候補者となることができる対象工事の件数は１件までとする。

4　開札にあたっては、先に開札を執行した入札の落札候補者を含む有効な入札をすべて開札する。先の入札において抽選一抜け方式適用工事で落札候補者となった者が、以後の抽選一抜け方式適用工事に係る入札の落札候補者になったときはこれを無効とし、次順位者を落札候補者とする。

5　抽選一抜け方式の適用により、無効となる入札を除くと最低価格による入札が残らない場合には、当該案件は抽選一抜け方式を適用しないものとする。

6　事後審査の結果、落札候補者が資格要件を満たさないと認められた場合は、次順位者を落札候補者とする。この場合、当該決定は他の案件の落札結果等に影響を及ぼさないものとする。

7　一覧表内の一部の入札案件を中止した場合は、当該中止案件はなかったものとみなして、落札候補者決定順位を繰り上げ、入札手続きを続行する。ただし、入札の公正性を阻害するおそれのある場合は、入札及び契約の手続きを中止する場合がある。

（留意事項）

※　この方式では、１者１件に落札が制限されることになるので、工事現場に配置可能な技術者が１名しか確保できない場合でも、複数の案件の入札に参加することが可能である。

※　一般競争入札（事後審査型）の場合、入札参加資格要件（元請施工実績、配置予定技術者の経験等）が案件ごとに異なる場合もあるため、注意が必要である。

※　指名競争入札の場合、指名された者が案件ごとに異なる場合もあるため、入札可能な案件が限定される場合（入札可能な案件が１件の場合）もある。

令和　　8　　年度

出口1号線排水路改良工事

工 事 価 格

消費税相当額

工 事 費 計

府中市　出口町　　地内

工　事　概　要

工事延長　　L=143.0m
　1号プレキャスト床版工　　N=17箇所
　2号プレキャスト床版工　　N=5箇所

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	72 府中市
単価適用日	00-08.10.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	04 道路改良工事	
施工地域・工事場所区分	02 市街地(DID補正)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	00 補正なし	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
道路改良	1	式			Y1E01　　レベル1
道路土工	1	式			Y1E0101　　レベル2
掘削工	1	式			Y1E010101　レベル3
掘削 土砂 障害無	0.8	m3			Y1E01010101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外	0.8	m3			SPK26040001 00 単第0 -0001　表
残土処理工	1	式			Y1E010110　レベル3
土砂等運搬 土砂	0.8	m3			Y1E01011002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り　距離5.0km以下(4.5km超)	0.8	m3			SPK26040002 00 単第0 -0002　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
残土等処分	0.8	m3			Y1E01011003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 土砂	0.8	m3			F0050　　00 ウツミ
排水構造物工	1	式			Y1E0109　　レベル2
側溝工	1	式			Y1E010903　レベル3
１号プレキャスト床版 T-14	17	枚			Y1E01090305レベル4
1号プレキャスト床版設置 L=1400×B1000×150 504ｋｇ/枚	17	枚			V0001　　00 単第0 -0003　表
1号プレキャスト床版 T－14　L1400×B1000×150 アンカー孔φ50含む	17	枚			F0010　　00
２号プレキャスト床版 T-14	5	枚			Y1E01090305レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
2号プレキャスト床版設置 L=1400×B2000×150 900ｋｇ/枚	5	枚			V0002 00 単第0 -0004 表
２号プレキャスト床版 T-14 L1400×B2000×150 ボルト固定グレーチング（細目）、アンカー	5	枚			F0020 00
舗装工	1	式			Y1E0204 レベル2
アスファルト舗装工	1	式			Y1E020404 レベル3
上層路盤(歩道部) 仕上り厚ｔ＝100㎜	8	m2			Y1E02040404レベル4
上層路盤(歩道部) 全仕上り厚100㎜ 1層施工 RM-30	8	m2			SPK26040235 00 単第0 -0005 表
表層(歩道部) 舗装厚t＝50㎜	8	m2			Y1E02040410レベル4
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50㎜以下) 1層当り平均仕上厚50㎜	8	m2			SPK26040244 00 単第0 -0006 表
構造物撤去工	1	式			Y1E0112 レベル2

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206　レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版	33	m			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	33	m			SPK26040304 00 単第0 -0007　表
舗装版破砕 アスファルト舗装版	8	m2			Y1E01120603レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)	8	m2			SPK26040017 00 単第0 -0008　表
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3
殻運搬 アスファルト殻	0.4	m3			Y1E01121601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離5.0km以下(4.5km超)	0.4	m3			SPK26040155 00 単第0 -0009　表
殻処分 アスファルト殻	0.4	m3			Y1E01121602レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 アスファルト殻	0.9	t			F0070　　00 ウツミ
構造物取壊し工	1	式			Y1E011206　レベル3
コンクリート構造物取壊し 鉄筋コンクリート	6	m3			Y1E01120601レベル4
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 人力施工(コンクリートブレーカ)	6	m3			SDT00033　　00 単第0 -0010　表
舗装版切断 コンクリート舗装版	27	m			Y1E01120602レベル4
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下	27	m			SPK26040304 00 単第0 -0011　表
運搬処理工	1	式			Y1E011216　レベル3
殻運搬 コンクリート殻（有筋）	6	m3			Y1E01121601レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破砕 DID区間有り 運搬距離3.0km以下(2.5km超)	6	m3			SPK26040155 00 単第0 -0012 表
殻処分 コンクリート殻（有筋）	6	m3			Y1E01121602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
処分費 コンクリート殻 有筋	15	t			F0065 00 上野
運搬処理工	1	式			Y1G022816 レベル3
現場発生品運搬 鉄屑	1	回			Y1G02281603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)	0.64	t			SPK26040410 00 単第0 -0013 表
処分費	0.64	t			Y1A01080408レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
処分費 鉄屑 H3	0.64	t			F0004　00
仮設工	1	式			Y1E0115　レベル2
工事用道路工	1	式			Y1E011501　レベル3
敷鉄板 22×1524×3043、802kg/枚	41	m2			Y1E01150104レベル4
敷鉄板設置	41	m2			S1050041　00 単第0 -0014　表
敷鉄板撤去	41	m2			S1050043　00 単第0 -0016　表
敷鉄板賃料 22×1524×3048,802kg/枚 賃貸期間30日	5	枚			S1050029　00 単第0 -0017　表
交通管理工	1	式			Y1E011521　レベル3
交通誘導警備員	12	人			Y1E01152101レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
交通誘導警備員B	12	人			R0369 00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
運搬費					Z0004
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費	4	t			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬 運搬距離 1.7㎞ 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0018 表
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					 当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK26040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準以外　　1　　m3　　当り

機械構成比:　21.20%　　労務構成比:　70.89%　　材料構成比:　7.91%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,870.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=8　標準以外			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK26040002　　単第0 -0002　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間有り　距離5.0km以下(4.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　19.09%　　労務構成比:　72.09%　　材料構成比:　8.82%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　3,876.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=24　距離5.0km以下(4.5km超)			B=6　バックホウ B容量0.13m3 D=2　DID区間有り		

施工単価表

1号プレキャスト床版設置　V0001　単第0 -0003　表

L=1400×B1000×150　504ｋｇ/枚　10　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.24	人			R0250
特殊作業員	0.45	人			R0010
普通作業員	1.82	人			R0020
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.45	日			KR006009
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	枚			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			

施工単価表

2号プレキャスト床版設置　V0002　単第0 -0004　表

L=1400×B2000×150　900ｋｇ/枚　10　枚　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.26	人			R0250
特殊作業員	0.5	人			R0010
普通作業員	2	人			R0020
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 4.9t吊,オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.5	日			KR006009
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	枚			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			

施工単価表

上層路盤(歩道部)　　SPK26040235　　単第0 -0005　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　　RM-30　　1　　m2　　当り

機械構成比: 4.48%　労務構成比: 70.96%　材料構成比: 24.56%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 956.69000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3	2.68%		小型バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型・超低騒音型・排3 バケット容量0.09m3		MTPC00169 MTPT00169
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第2,3次基準値)低騒音	1.59%		振動ローラ(舗装用) 搭乗・コンバインド式 運転質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	25.56%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	15.00%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.84%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	12.19%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粒度調整砕石 30～0㎜	22.56%		再生粒度調整砕石 RM-30 [標準数量]全仕上り厚100㎜		TTPC00010 TTPT00360

施工単価表

上層路盤(歩道部)　　SPK26040235　　単第0 -0005　表

全仕上り厚100㎜ 1層施工　　RM-30　　1　　m2　　当り

機械構成比:　4.48%　　労務構成比:　70.96%　　材料構成比:　24.56%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　956.69000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100　全仕上り厚(㎜) D=1　-(全ての費用)			B=1　RM-30		
【路盤材単価】 全仕上り厚(㎜)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(㎜):100.000(㎜)					

施工単価表

表層(歩道部)　　SPK26040244　　単第0 -0006　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　　1層当り平均仕上厚50mm　　1　m2　当り

機械構成比: 0.45%　労務構成比: 52.37%　材料構成比: 47.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,357.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級	0.08%		振動コンパクタ 前進型 通称40～60kg級		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	41.06%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00023 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.93%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(歩道部)　SPK26040244　単第0 -0006　表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)　1層当り平均仕上厚50mm　1　m2　当り

機械構成比: 0.45%　労務構成比: 52.37%　材料構成比: 47.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,357.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.11%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0007　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級 ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0007　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 14.40%　労務構成比: 58.90%　材料構成比: 26.70%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　　SPK26040017　　単第0 -0008　表

1　m2　当り

機械構成比: 21.20%　労務構成比: 70.89%　材料構成比: 7.91%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,871.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3	21.20%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・超低騒音型・排3 バケット容量0.13m3		MTPC00184 MTPT00184
運転手(特殊)	70.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.91%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0009　表

舗装版破砕　　DID区間有り　運搬距離5.0km以下(4.5km超)　　1　m3　当り

機械構成比:　19.09%　労務構成比:　72.09%　材料構成比:　8.82%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価：　5,038.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=22　運搬距離5.0km以下(4.5km超)		

施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)　SDT00033　単第0 -0010　表

人力施工(コンクリートブレーカ)　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 人力施工 時間的制約なし	1.000	m3			TDT001579
諸雑費	1	式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 D=1　時間的制約なし			B=2　人力施工(コンクリートブレーカ)		

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0011　表

コンクリート舗装版　　コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 10.07%　労務構成比: 38.59%　材料構成比: 51.34%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,381.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)･湿式･E駆動 通称(切削深)30cm級ブレード径φ75cm	6.85%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)30cm級 ブレード径φ75cm		MTPC00057 MTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	13.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.14%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	5.91%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)	23.11%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径75cm(30インチ)		TTPC00016 TTPT00016
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	15.88%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径35cm(14インチ)	9.68%		コンクリートカッタブレード 径14インチ		TTPC00344 TTPT00344

施工単価表

舗装版切断　　SPK26040304　　単第0 -0011　表

コンクリート舗装版　　コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 10.07%　労務構成比: 38.59%　材料構成比: 51.34%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 3,381.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.82%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 コンクリート舗装版 E=1 -(全ての費用)			C=2 コンクリート舗装版厚15cmを超え30cm以下		

施工単価表

殻運搬　　SPK26040155　　単第0 -0012　表

舗装版破砕　　DID区間有り　運搬距離3.0km以下(2.5km超)　　1　m3　当り

機械構成比:　19.09%　労務構成比:　72.09%　材料構成比:　8.82%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　3,664.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 通称2t積級	19.09%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.09%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.82%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=2　DID区間有り E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=13　運搬距離3.0km以下(2.5km超)		

施工単価表

現場発生品及び支給品運搬　　SPK26040410　　単第0 -0013　表

クレーン装置付 通称2t積2.9t吊　　片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)　　1　t　当り

機械構成比: 13.14%　労務構成比: 83.98%　材料構成比: 2.88%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 2,877.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称2t積級吊能力2.9t	13.14%		トラック クレーン装置付 通称2t積級 吊能力2.9t		MTPC00154 MTPT00154
運転手(特殊)	42.42%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	41.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.88%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　クレーン装置付 通称2t積2.9t吊 C=5　片道運搬距離5.0km以下(3.0km超)			B=2　DID区間有り		

施工単価表

敷鉄板設置　　S1050041　　単第0 -0014　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.152	人			RTPC00009
とび工	0.152	人			RTPC00004
普通作業員	0.152	人			RTPC00002
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.152	日			S9035　単第0-0015　表
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

機-28_バックホウ(クローラ型)運転　　S9035　　単第0 -0015　表
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			RTPC00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	119.00	L			TTPC00013
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.06	供用日			KTPC00006
諸雑費	1	式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=19　クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=119　軽油消費量(L/日) D=1.06　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

敷鉄板撤去　　S1050043　　単第0 -0016　表

100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.143	人			RTPC00009
とび工	0.143	人			RTPC00004
普通作業員	0.143	人			RTPC00002
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3	0.143	日			S9035　単第0-0015　表
諸雑費	1	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

敷鉄板賃料　　S1050029　　単第0 -0017　表

22×1524×3048,802kg/枚　　賃貸期間30日　　1　　枚　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 90日以内	30.000	枚・日			K0100065
(賃料)鋼板 22×1524×3048,802kg/枚 整備費	1.000	枚			K0100073
諸雑費	1	式			#91
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	枚			
A=3　22×1524×3048,802kg/枚 C=30　敷鉄板賃貸期間（日）			B=1　賃料 D=2　整備費有り		

施工単価表

仮設材等(鋼矢板,H鋼,覆工板,敷鉄板等)運搬　S1000007　単第0 -0018 表

運搬距離 1.7km　製品長 12m以内　1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃 運搬距離 1.7km 製品長 12m以内 運搬質量 4t	1.000	式			S1000009 単第0-0019 表
往復					+00
積込み,取卸しに要する費用	1.000	式			S1000009 単第0-0020 表
＊＊＊ 単位当たり ＊＊＊	1	式			
A=1.7 運搬距離(km) C=1 - E=4 運搬質量(t)			B=1 12m以内 D=1 - F=1 -		
H=1 - L=1 基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			J=1 -		

施工単価表

基本運賃　　S1000009　　単第0 -0019　表

運搬距離 1.7㎞　　製品長 12m以内 運搬質量 4t　　1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
基本運賃	1.000	式			JU001 ※直接経費の対象外
t当り基本運賃	4.000	t			E0001
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=1　基本運賃 C=1　12m以内			B=1.7　運搬距離(km) D=4　運搬質量(t)		

施工単価表

積込み,取卸しに要する費用　　S1000009　　単第0 -0020　表

1　式　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材積込み費（基地）	4.000	t			KR00E006
仮設材取卸し費（現場）	4.000	t			KR00E009
仮設材積込み費（現場）	4.000	t			KR00E008
仮設材取卸し費（基地）	4.000	t			KR00E007
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	式			
A=5　積込み,取卸しに要する費用 K=1　基地積込み・取卸し,現場積込み・取卸し			D=4　運搬質量(t)		

出口1号線排水路改良工事

数量計算書

府中市出口町

工 事 数 量 総 括 表

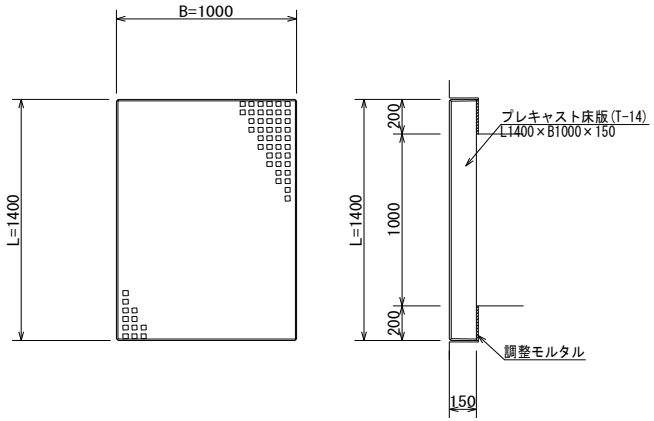
工事名			出口1号線排水路改良工事				事業区分	
							工事区分	
工種・種別・細別				規格		単位	計算数量	計上数量	摘要
道路改良						式	1.0	1	
	道路土工					式	1.0	1	
		掘削工				式	1.0	1	
			掘削	土砂		m3	0.8	0.8	
		残土処理工				式	1.0	1	
			土砂等運搬	土砂		m3	0.8	0.8	
			残土等処分	土砂		m3	0.8	0.8	
	排水構造物工					式	1.0	1	
		側溝工				式	1.0	1	
			1号プレキャスト床版	B＝1000 L＝1400 T-14 504kg/枚		枚	17.0	17	
			2号プレキャスト床版	B＝2000 L＝1400 T-14 900kg/枚	ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ600×600 細目 ﾎﾞﾙﾄ固定	枚	5.0	5	
	舗装工					式	1.0	1	
		アスファルト舗装工				式	1.0	1	
			上層路盤	t=10cm	平均幅員1.4m未満	m2	8.1	8	
			表層工	t=5cm	平均幅員1.4m未満	m2	8.1	8	
	構造物撤去工					式	1.0	1	
		舗装版撤去				式	1.0	1	
			舗装切断	厚さ15cm以下	アスファルト	m	33.0	33	
			舗装版破砕	t＝5cm	アスファルト	m2	8.1	8	
			殻運搬	アスファルト殻		m3	0.4	0.4	

工 事 数 量 総 括 表

			殻処分	アスファルト殻		t	0.9	0.9	
		コンクリート構造物取壊し				式	1.0	1	
			床版切断	厚さ15cmを超え30cm以下		m	26.6	27	
			構造物とりこわし工(鉄筋構造物)	有筋	人力	m3	5.9	6	
			殻運搬	コンクリート殻	有筋	m3	5.9	6	
			殻処分	コンクリート殻	有筋	t	14.8	15	
			鉄板運搬	鉄板蓋	PL9×950×950	t	0.638	0.64	
			鉄くず処分	H3		t	0.638	0.64	
	仮設工					式	1.0	1	
		工事用道路				式	1.0	1	
			設置・撤去	22×1524×3048	802kg/枚	m2	40.5	41	
			賃料	22×1524×3048	802kg/枚	枚	5.0	5	
		交通管理工				式	1.0	1	
		交通誘導警備員				人	12.0	12	
				交通誘導員警備員B		人	12.0	12	
共通仮設費						式	1.0	1	
	運搬費					式	1.0	1	
		運搬費				式	1.0	1	
			仮設材運搬			t	4.0	4	

計　　第	１号プレキャスト床版	計　算　書

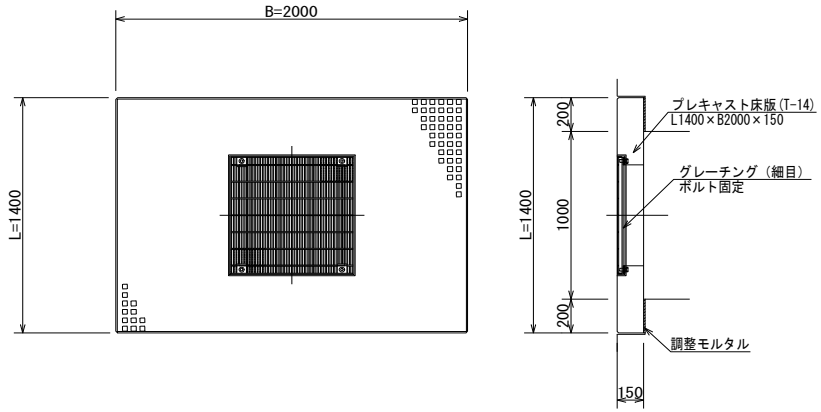
1号プレキャスト床版



名　　称	規　　格		単位数量	箇所	数　量	単位	備　考
1号プレキャスト床版	B=1000　L=2000				17	枚	

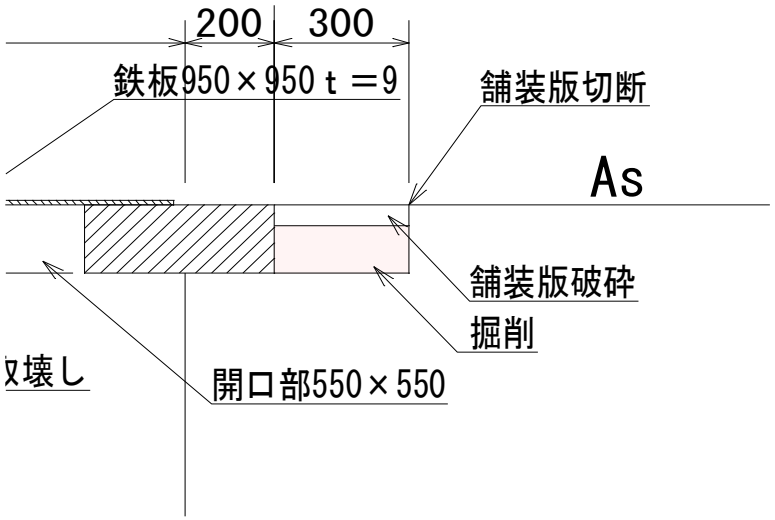
計　　第	２号プレキャスト床版	計　算　書

2号プレキャスト床版



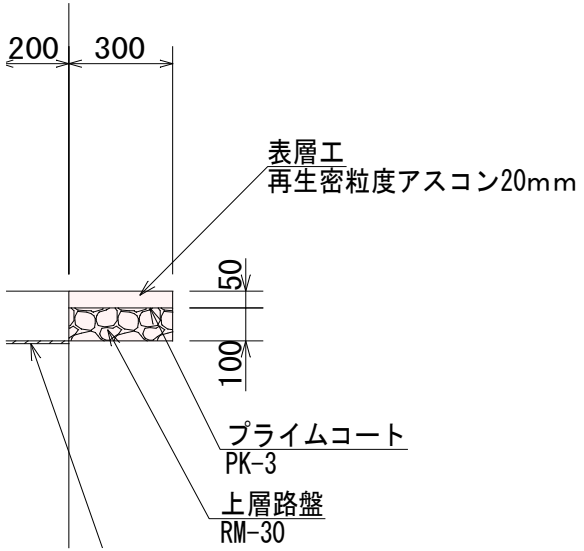
名　　称	規　　格		単位数量	箇所	数　量	単位	備　考
2号プレキャスト床版	B=2000　L=2000				5	枚	

計　　第	道路土工	計　算　書



名　　称	規　　格		単位数量	面積	数　量	単位	備　考
道路土工							
掘削	土砂	(1.0×17+2.0×5) ×0.3×0.1			0.8	m3	
運搬	土砂				0.8	m3	
処分費	土砂				0.8	m3	

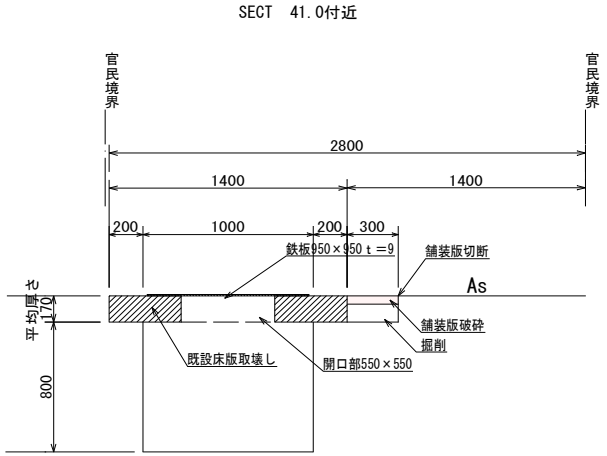
計　　第　　舗装工　　計　算　書

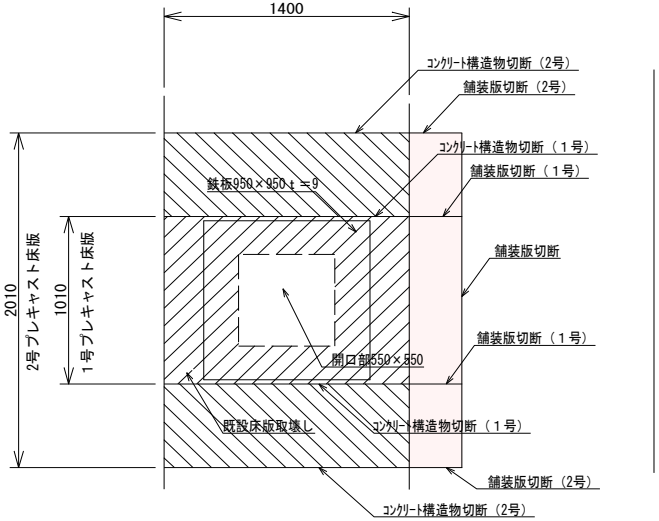


1号プレキャスト床版　N=17箇所　　2号プレキャスト床版　N=5箇所

名　称	規　格		単位数量	面積	数　量	単位	備　考
アスファルト舗装工 表層工（乗入部）	再生密粒度 ｔ＝5ｃｍ	(1.0×17+2.0×5) ×0.3			8.1	m2	
上層路盤	RM-30 ｔ＝10ｃｍ				8.1	m2	表層工と同じ

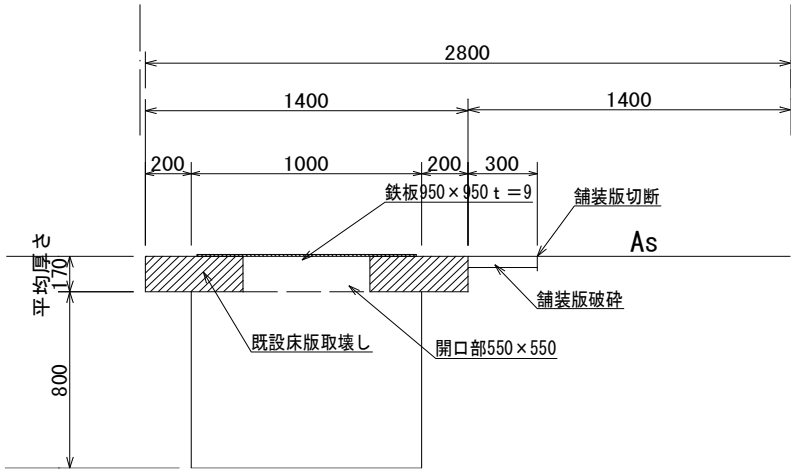
計　　第	アスファルト舗装版撤去	計　算　書

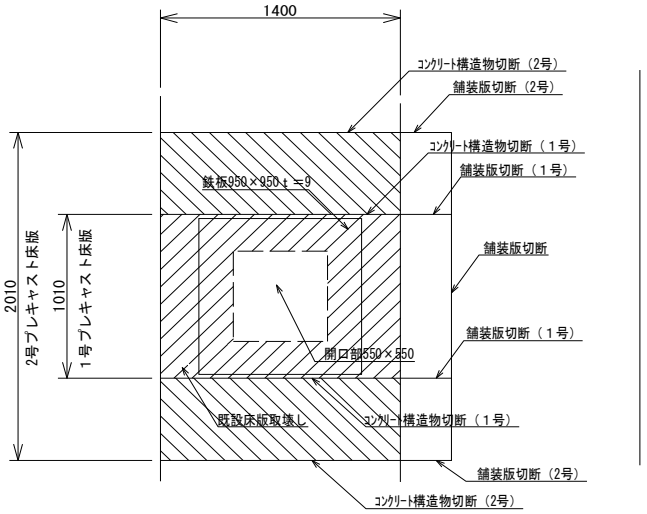




名　　称	規　　格		単位数量	面積	数　量	単位	備　考
アスファルト 舗装版撤去	ｔ＝5ｃｍ				8.1	m2	表層工と同じ
		8.1×0.05			0.4	m3	体積
		0.4×2.35			0.9	t	重量
舗装版切断	ｔ＝5ｃｍ	1.0×17+2.0×5+(1+5+4)×2×0.3			33.0	m	

計　　第　　構造物撤去撤去　　計　算　書





名　　称	規　　格		単位数量 m3	箇所	数　量	単位	備　考
	1号床版	1.4×1.0×0.17	0.24	17	4.05	m3	
	2号床版	1.4×2.0×0.17	0.48	5	2.38	m3	
	開口部控除	0.55×0.55×0.17	0.051	10	0.51	m3	
コンクリート取壊し	有筋	4.05+2.38-0.51			5.92	m3	体積
		5.92×2.50			14.8	t	重量
	切断箇所	2×9+1			19	箇所	
		1.40×19			26.6	m	
鉄板蓋撤去		0.95×0.95	0.903	10	9.03	m2	面積
		9.03×70.65			638	t	t=9mm　70.65kg/m2 重量

計　　第	仮設工（敷き鉄板）	計　算　書

名　　称	規　　格		単位数量	個所	数　量	単位	備　考
敷き鉄板	設置・撤去	1.500×3.000	4.50	9	40.5	m2	面積
	賃料				5.0	枚	
	運搬	5×802			4.0	t	重量